



教会短信

2015年6月14日

No. 63

牧師 間瀬 善彦

「^{つるぎ}剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる」(マタイ 26 章 52 節)。

現在、国会で審議されている安全保障関連法案が合憲か、違憲かが問題となっています。国民にはなかなかわかりにくい法案審議ですが、知らないうちに日本が外国の戦争に巻き込まれてしまうことがないように、関心をもって国会の動きを見守っていきたいものです。

そもそも内閣だけの勝手な憲法解釈の変更で、集団的自衛権の行使を認めてしまうのはおかしなことです。やるならちゃんと改憲手続きをしてからというのが、正しい進め方なのではないでしょうか。

イエスがユダヤ人の指導者たちに捕えられたとき、イエスと一緒にいた者の1人が剣を抜き、ユダヤ教の大祭司の僕しもべに打ちかかって、片方の耳を切り落としました。その時、イエスは言われました。「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる。わたしが父にお願いできないとも思うのか。お願いすれば、父は十二軍団以上の天使を今すぐ送ってくださるであろう」(マタイ 26 章 52-53 節)。イエスはユダヤ人の指導者たちに捕えられようとしたとき、剣を抜いて、立ち向かおうとはしませんでした。もしも、本気で戦う気があれば、天におられる父なる神に願って、天から天使の軍勢を送ってもらい、簡単に打ち負かすこともできたはずですが、イエスはそうしませんでした。「剣を取る者は皆、剣で滅びる」と言われました。

自衛隊が外国軍の後方支援として出動した場合、どんな強力な武器を持って出動したとしても、攻撃を受け、死傷者が出るでしょう。いやむしろ、武器を持っているがゆえに攻撃目標とされるのです。国会で自衛隊員に死傷者が出た場合はどうするのかという議員の質問に対して、閣僚はそんなことは想定外と言わんばかりに、明確に答弁しておりません。自衛隊員に死傷者が出るとを最初から認めると、法案審議が進まないと考えているのでしょうか。

「剣を取る者は皆、剣で滅びる」。イエスが捕えられたとき、武器をもって戦わなかったのは、それが神の御心だったからです。イエスは武器を取らない丸腰の強さを知っていたのです。本当の強さとは、武器を持たないところにあるのではないのでしょうか。

Rさん、沢山の楽しい思い出を、本当に有り難う



和光樹林公園は、緑が目眩しかった。空を上げば、太陽の粒が葉と葉の間からきらきらとこぼれてくる。五月の風が、優しく頬を撫でてゆく。この風は世界中を巡って、祈りを運んでいるのだろうか。

大好きなRさんが天に召されて、早くも一月が経とうとしていた。この時期、前に在籍していた大泉教会では、Rさんも含め、この公園で野外礼拝を開いた。元気に走り回る子供たちと一緒に遊ぶRさん。子供が大好きだったRさん。一人さみしそうにしている子供がいたら、そっと近くに寄り添って言葉をかけ、話中に騒いでいる子供には、優しく叱ってくれたRさん。小さな子供達は、教会学校というより、Rさんに会いたがって教会に来てくれた。

Rさんの突然の訃報が届いた時、言葉を失ってしまった。参列した告別式では、お父様から最後の挨拶を頂いた。その話の中で、Rさんは先天性の糖尿病を高校生の時から患い始め、透析のために毎週数回は病院に通っていた、と伺った。「何故、こんな病気に僕がかからないといけないのだ!」、と自分の部屋に引きこもりがちだったRさん。「でも、教会に行くようになってRは変わった」、と語っておられた。お父様も感心するくらい、毎週日曜日に教会に行くようになった。青年主催の礼拝で、Rさんが語った証を、今でもはっきりと憶えている。「僕は優しい人になりたいんです」と語っていた。十二分に優しいと思うのに何故、という疑問は今も持ち続けている。きっと、自分の弱さ、優しくない自分に向き合った時に、そっと優しくイエス様がそばにいてくださった、と言いたかったのかな?

僕たち家族が大泉教会に通うようになってから13年間、イースター、花の日、サマーキャンプ、理科実験教室、クリスマス、いつも教会学校で一緒だったRさん。イースターでは、朝早くから林の中に卵を隠し、クリスマスの劇の用意では、冷え切った教会堂で夜遅くまで舞台作りを共にしたRさん。サマーキャンプでは、毎年欠かさず子供たちと川で泳いだ。心の底から笑いあえたね。Rさんが大病で来ることができなかったサマーキャンプは、炭酸の抜けた、ぬるいコーラのようなようだった。告別式には、最近教会から足が遠のいている息子を含め、娘、元教会学校の子供達が参列した。会うと直ぐに、あの頃の子供のように仲良く話が弾んでいた。「きっとRさんが集めてくれたんだね。最後までみんなに気を配って、Rさんらしいね」と妻と感謝をした。

Rさんは47歳の若さで天に召されたけれど、今は天国で大好きなイエス様の横で安らいでいると思う。もはや杖も要らなく、走り回っているRさんの姿が目につかぶ。もし僕が天国に召さ

れたら、もう一度サマーキャンプをしよう。素敵なお川を探しておいてね。Rさん、沢山の楽しい思い出を、本当に有り難う。大好きなイエス様のもとで、ゆっくりと休んでくださいね。

T. W



6月21日（日）は、父の日です。日頃のお父様方のお働きに感謝をする日です。

早朝から夜遅くまで一生懸命に働かれてご苦労さまです。時にはご自分の体もいたわって真の休養を取ってください。上の絵のようにジョギングなどもして、おもいきりリフレッシュしていただきたいと思います。

5月の第2日曜日「母の日」と6月の第3日曜日「父の日」は、聖書の中の教え「あなたの父母を敬え」（出エジプト20章12節）からきています。

教会では、子供のいない方、「お母さん」「お父さん」と呼ばれない方もたくさんいらっしゃいますので、「女性の日」「男性の日」として祝っています。6月21日（日）第3日曜日は、礼拝の時間の中で、日頃の男性たちの働きに感謝をする時間があります。ささやかなプレゼントも準備いたしております。よろしければいらしてください。

聖書を学ぶ会

- 牧師から詳しく聖書を学びます。
- 讃美歌も歌い楽しい会です。

毎週火曜日 午後1時30分～2時30分

聖書研究・祈り会

- 静かな夕べに聖書を学びます。
- 共に祈り合います。

毎週水曜日 午後7時30分～8時30分

教会学校（幼児科）

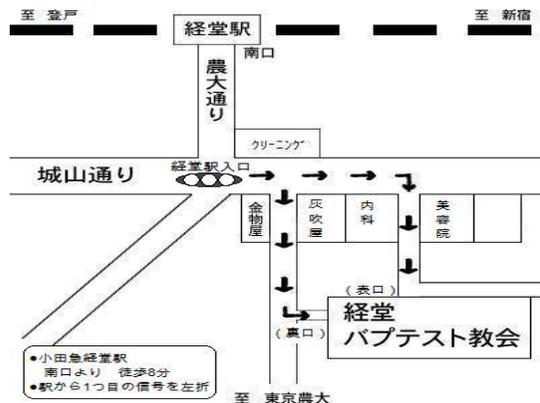
- かわいい讃美歌を歌って、聖書のやさしいお話を聞きます。お祈りもします。

毎週日曜日 午前10時～10時20分

教会学校（成人科）

- 礼拝の中で、牧師のお話を聞いて、感想や意見を述べ合います。わからないところは質問もできます。

毎週日曜日 礼拝後



経堂バプテスト教会

牧師 間瀬 善彦

〒156-0053 世田谷区桜1-64-30

TEL 03-3427-2352

※当教会はプロテスタント教会です。エホバの証人、モルモン教、統一協会などとは異なります。